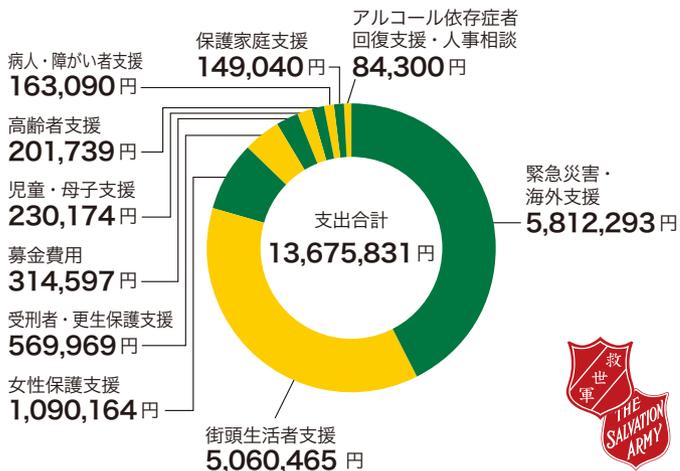


皆様のご寄付により、これらの活動が支えられていますこと、心より感謝申し上げます。

2020年度
社会鍋募金
実績報告

歳末社会鍋募金(東京地区) 2,969,100円
通年社会鍋募金 10,706,731円

合計 **13,675,831円**



2020年度の社会鍋募金による支援活動

2021年も多くの困難に遭われた方々への支援のみならず、コロナ禍により被害を受けた皆様への支援に力を注ぎました。



子ども食堂でコロナ禍にある家庭を支援：東京



社会鍋資金でコロナ禍にある生産者支援として食料を購入し、困難の内にある方々に安く提供：岡山、福山



母子生活支援施設の子供たちにケーキやお菓子をプレゼント：前橋



床上浸水した被災者を支援：佐賀



寒い冬、路上で生活されているお一人お一人に温かいお弁当を配布：横浜



母子生活支援施設の子供たちにケーキやお菓子をプレゼント：前橋



救世軍

社会鍋 2021

THE SALVATION ARMY CHRISTMAS KETTLE

イエス・キリストの言葉

わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。

ヨハネによる福音書 8章 12節

ステイホームでもその場で募金ができる

オンライン社会鍋

社会情勢を考慮し、今年度もオンラインでも社会鍋を実施いたします。右のQRコードを読み取るか、救世軍HPよりアクセスしてください。



救世軍本営

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 2-17
Tel 03-3237-0881
Fax 03-3237-3588
<https://www.salvationarmy.or.jp>



世界 132 の国と地域で神の愛を伝える救世軍

救世軍は、キリスト教（プロテスタント）の教会と社会福祉・医療・教育施設等を通して活動しています。創立者は、イギリスのメソジスト教会の牧師であったウィリアム・ブース。1865年、ロンドンの貧しい人々、社会から顧みられない人々を物心両面から救うためにその働きを始めました。現在は、世界 132 の国と地域で助けを必要としている人々のニーズに応えながら、神の愛を伝えています。



11月30日は
「社会鍋の日」

三脚に鍋をつらし、ラッパを吹きながら街頭で募金をする「社会鍋」は、歳末助け合い募金の先駆けとして知られ、俳句の季語にもなっています。

一般社団法人日本記念日協会は、2015年、毎年12月に開始する募金活動をアナウンスする日として、11月30日を「社会鍋の日」と認定しました。

なぜ鍋をぶら下げているのですか？

これは、今から112年前、アメリカの救世軍で行われていたスープ壺をぶら下げて募金をするスタイルを日本風にアレンジしたものです。貧しくてお正月の準備もできない家庭に、寄せられた寄付金で食べ物を買って詰め合わせ、届けて回るためでした。その後、寄付金は、救世軍が行う様々な支援活動に使われるようになりましたが、この募金スタイルは変わることなく、今日も誰かの心と体を温めるために、街頭に立っているのです。

第5回 救世軍社会鍋 俳句コンテスト 受賞作品

最優秀賞

くろがねの
使ひ込んだる

社会鍋

(吉野敬子様)

優秀賞

寒灯に
乱反射する

鍋の中

(天熊梓暲様)

慈善鍋

硬貨一枚

明日へ向く

(洞城美乃里様)

第6回 救世軍社会鍋 俳句コンテストのお知らせ

皆様の作品を
募集します！

募集内容 社会鍋を題材にした未発表作品

作品数 1人2句まで

応募方法 ・応募用紙の郵送、Fax、e-mail
・救世軍HP「応募フォーム」より
※ペンネーム不可

応募先 救世軍本営

締め切り 2022年3月31日(木) 消印有効

※お問い合わせは救世軍本営「救世軍社会鍋
俳句コンテスト係」まで。